

政策シート

政策名04 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

予算費目名01 廃棄物処理施設費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

・浜松市の一般廃棄物を安全・安定的な処理を継続するため、新しいごみ処理施設を整備する。
・浜松市全域のごみを効率的に処理するために施設整備を図るとともに、下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理計画区域外において、適正な污水处理を目指し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
・一般廃棄物を適正に処理し、美しい環境の保全・再生につなげていく。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑦エネルギー	⑪都市	⑫生産・消費	⑭海洋資源				
-------	--------	-----	--------	-------	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	2,570,376	2,638,388	5,714,827	2,903,604	3,308,609	4,581,139
決算	6,050,225	2,550,074	5,613,069	2,630,200	3,187,977	
人件費(報酬等)(A)				112	136	111
人件費(人工分)(B)	365,400	358,440	361,920	370,500	360,100	120,600
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,415,625	2,908,514	5,974,989	3,000,812	3,681,167	4,701,850

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
西部清掃工場建設の進捗率	%	目標						
		実績						
西部衛生工場の長寿命化工事の件数による進捗率	%	目標	70.6	82	91	94	100	100
		実績	67.6	76.5	79	88	100	
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

・西部衛生工場の長寿命化事業として、4号活性炭吸着棟更新や第一調整槽防食し渣貯留ホッパー整備等各工事を実施した。
--

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・西部衛生工場の長寿命化に係る整備事業を実施した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	西部清掃工場更新事業	—	○		21,210	12,699	1.0			0.5	111
2	西部清掃工場運営事業	—	—		3,006,023	2,985,023	2.8			0.5	
3	衛生工場運営事業	—	—		949,447	918,547	3.5	1.0		1.0	
4	ごみ計量システム維持管理 事業	—	—		24,498	23,798	0.1				
5	旧施設管理事業	—	—		672,642	638,242	4.0	1.0		1.0	
6	一般廃棄物処理施設整備事 業基金積立金	—	—		708	8	0.1				
7	廃棄物処理施設デジタル運 営経費	—	—		736	36	0.1				
8	廃棄物処理施設運営経費 (一般諸経費のみ)	—	—		26,586	2,786	3.4				
9	ごみ焼却施設運営事業	—	—	○							
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					4,701,850	4,581,139	15.0	2.0		3.0	111

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 04	基本政策 01	政策 04	予算費目 01	所属コード 001510000	事業 01	(担当課) 廃棄物処理施設課	(責任者) 平口 学	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 01 西部清掃工場更新事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

現行西部清掃工場の更新を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	2028	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑦エネルギー	⑪都市	⑫生産・消費						
事業とゴールの 関連性		・廃棄物を適正に処理することにより、生活環境の保全、公衆衛生の向上及び資源が循環して利用される社会形成を図る。 ・廃棄物処理施設の設置者として、法令等を遵守し、適正な施設計画及び建設を行う。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			11,988	41,125	33,177	12,699
	決算			10,967	38,051	32,598	
	国・県支出			4,000	12,560	6,249	3,272
	市債						
	その他						
	一般財源			6,967	25,491	26,349	9,427
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)					112	136	111
人件費(人工分)(B)				5,880	8,400	6,300	8,400
人工	正規			0.8	1.0	0.7	1.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1	0.5	0.5	0.5
年間経費(予算又は決算+A+B)				16,847	46,563	39,034	21,210

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
西部清掃工場の更新事業計画策定の進捗率(%)	—	目標	5	20	55	100	—	—
		実績	5	15	55	100	—	
施設整備に係る生活環境影響調査の進捗率(%)	—	目標			5	35	100	—
		実績			5	35	100	
事業者選定に係るPFIアドバイザー業務の進捗率(%)	—	目標			5	20	85	100
		実績			5	20	85	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	04	01	001510000	01	廃棄物処理施設課	平口 学	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・生活環境影響調査業務委託を委託し、業務を完了した。
- ・PFIアドバイザー業務委託を委託し、業務を遂行した。(3か年の業務:2024年度完了予定)
- ・土壌調査(概況調査)業務委託の入札を実施し、業務を完了した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ・生活環境影響調査業務委託を委託し、業務を完了した。
- ・PFIアドバイザー業務委託を委託し、業務を遂行した。(3か年の業務:2024年度完了予定)
- ・土壌調査(概況調査)業務委託の入札を実施し、業務を完了した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・生活環境影響調査業務委託を委託し、業務を遂行する。(2か年の業務:2023年度完了)
- ・PFIアドバイザー業務委託を委託し、業務を遂行する。(3か年の業務:2024年度完了予定)
- ・土壌調査(概況調査)業務委託の入札を実施し、業務を遂行する。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・PFIアドバイザー業務委託を委託し、業務を遂行する。(3か年の業務:2024年度完了予定)
- ・更新事業のDBO事業者を選定し、契約を締結する。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

対象施設: 西部清掃工場

- ・PFIアドバイザー業務委託業務を遂行する。(～2024)
- ・更新事業のDBO事業者を選定し、契約を締結する。

(管理番号)									
2024年度	分野 04	基本政策 01	政策 04	予算費目 01	所属コード 001510000	事業 02	(担当課) 廃棄物処理施設課	(責任者) 平口 学	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 02 西部清掃工場運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

西部清掃工場の適正な運営・維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2008	2028	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑦エネルギー	⑪都市	⑫生産・消費					
事業とゴールの 関連性		・廃棄物を適正に処理することにより、生活環境の保全、公衆衛生の向上及び資源が循環して利用される社会形成を図る。 ・廃棄物処理施設の設置者として、法令等を遵守し、安全かつ適正な施設の運転管理を行う。 ・ごみ焼却時に発生する熱を再生エネルギーとして有効活用する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,047,326	1,052,077	1,040,194	1,062,996	1,537,390	2,985,023
	決算	992,954	1,009,399	989,747	998,074	1,427,254	
	国・県支出						
	市債						
	その他	855,589	811,586	809,433	796,879	791,833	444,137
	一般財源	137,365	197,813	180,314	201,195	635,421	2,540,886
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		20,300	13,300	13,860	16,100	15,400	21,000
人工	正規	2.9	1.9	1.9	2.1	2.0	2.8
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2	0.5	0.5	0.5
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,013,254	1,022,699	1,003,607	1,014,174	1,442,654	3,006,023

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
可燃ごみの適正処理量の累計値(t)	—	目標	605,000	726,000	847,000	968,000	1,089,000	—
		実績	577,145	686,312	798,052	908,773	1,002,528	
ごみ発電出力の累計値(GWh)	—	目標	180	216	252	288	324	—
		実績	238	283	327	371	406	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	04	01	001510000	02	廃棄物処理施設課	平口 学	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

・西部清掃工場の適正な運営・維持管理を行った。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・事業モニタリングにおいて運営・維持管理を確認した。
- ・焼却により発生した余熱を利用し、発電や総合水泳場へ電気、蒸気を供給を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・西部清掃工場の契約延長について、事業者との協議結果を基に第2期運営・維持管理委託契約を締結する。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・第2期運営・維持管理委託契約に基づき、施設の適正な維持管理を実現するため、運営モニタリングを実施する。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

対象施設: 西部清掃工場

- ・2024年2月から、長期包括委託契約により、運営・維持管理業務を民間委託している。
- ・処理対象物は可燃ごみ、下水汚泥等である。
- ・処理対象物をスラグ、精製塩やミックスメタルに再資源化し、最終処分場の延命化に貢献させる。
- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)へ蒸気とごみ発電による電気を供給する。

(管理番号)									
2024年度	分野 04	基本政策 01	政策 04	予算費目 01	所属コード 001510000	事業 03	(担当課) 廃棄物処理施設課	(責任者) 平口 学	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 03 衛生工場運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

施設の統廃合が完了し、し尿処理体制の効率化が図られ、東部衛生工場の予防保全に係る設備機器の定期的な保守点検整備を含めた運転管理を包括委託し、西部衛生工場については長寿命化工事を行い、強靱なし尿処理体制を維持管理していく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1981	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑪都市	⑫生産・消費	⑭海洋資源					
事業とゴールの 関連性		・し尿処理施設の適正な維持管理により、地元協定を遵守する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	804,160	781,014	892,279	999,722	948,514	918,547
	決算	760,930	759,834	865,332	805,847	1,078,473	
	国・県支出						
	市債			53,700			
	その他	58,411					
	一般財源	702,519	759,834	811,632	805,847	1,078,473	918,547
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		26,660	27,500	31,040	38,120	30,900	30,900
人工	正規	2.9	2.9	3.2	4.4	3.5	3.5
	再任用(31h)	0.6	0.6	1.0	1.1	1.0	1.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.5	1.8	1.8	1.2	1.0	1.0
年間経費(予算又は決算+A+B)		787,590	787,334	896,372	843,967	1,109,373	949,447

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
西部衛生工場の長寿命化工事の件数による進捗率(%)		目標	70.6	82.4	91.2	94.1	100	100
		実績	67.6	76.5	79.4	88.2	100	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

■衛生工場管理運営事業

- ・東部、西部衛生工場を適正に維持管理した。

■衛生工場整備事業

- ・西部衛生工場の長寿命化工事を行った。
- ・水窪の貯留槽改修工事を行った。



5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

■衛生工場管理運営事業

- ・東部、西部衛生工場を適正に維持管理した。

■衛生工場整備事業

- ・西部衛生工場の長寿命化工事を進め、計画通りに進んでいる。
- ・貯留槽改修工事を行い、水窪貯留槽が完了。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・西部衛生工場の長寿命化に係る事業を予算の範囲内で実施した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・老朽化した北遠地区のし尿貯留槽2槽(龍山・春野)を計画的に整備していく。



7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

■衛生工場管理運営事業

- ・東部、西部衛生工場を適正に維持管理する。
- ・借地である春野貯留槽の、移転候補地の選定を行う。

■衛生工場整備事業

- ・衛生工場の長寿命化計画の改定について進めていく。
- ・龍山貯留槽の改修工事設計を完了する。

(管理番号)									
2024年度	分野 04	基本政策 01	政策 04	予算費目 01	所属コード 001510000	事業 04	(担当課) 廃棄物処理施設課	(責任者) 平口 学	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 04 ごみ計量システム維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料として利用するための計量システムについて、適正な管理・運用を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2011	—	一般会計	自治事務(その他)	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	計量システムの適正な管理、運用により、統計データを活用する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	17,179	12,909	12,899	34,525	39,896	23,798
	決算	12,750	12,786	12,759	34,249	36,865	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	12,750	12,786	12,759	34,249	36,865	23,798
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		640	700	2,800	2,100	2,100	700
人工	正規		0.1	0.4	0.3	0.3	0.1
	再任用(31h)	0.1					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1					
年間経費(予算又は決算+A+B)		13,390	13,486	15,559	36,349	38,965	24,498

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

■ごみ計量システムの運営

・市内の廃棄物処理施設の計量器で得られるデータをネットワークで結び、計量データを管理した。

・ごみ計量データは、一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料などで利用した。

・現行ごみ計量システムは再賃貸借契約での運用とした。

■ごみ計量システムの再構築

・現行システムの運用期間(2019年度～2023年度)終了に伴い、システムの再構築を完了した。(2か年の業務: 2023年度完了)

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・現行システムの適切な運用を図り、安定的なごみ処理に貢献した。

・ごみ計量システムについて、トラブル無く稼働している。

・現行システムの運用期間(2019年度～2023年度)終了に伴い、システムの再構築を完了した。(2か年の業務: 2023年度完了)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

小項目

 /

事業費

人工

現行システムの運用期間(2019年度～2023年度)の終了が近づいたことに伴い、2022年度・2023年度の2か年をかけてシステムの再構築を実施する。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

小項目

 / 事業費 人工

再構築した計量システムを運用する。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

■ごみ計量システムの運営

・市内の廃棄物処理施設の計量器で得られるデータをネットワークで結び、計量データを管理する。

・計量データは、一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料などで利用する。

・現ごみ計量システムは再賃貸借契約での運用とする。

(管理番号)									
2024年度	分野 04	基本政策 01	政策 04	予算費目 01	所属コード 001510000	事業 05	(担当課) 廃棄物処理施設課	(責任者) 平口 学	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 05 旧施設管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

処理が終了したごみ処理施設、し尿処理施設、埋立地(旧ごみ処理施設)及びその跡地を適正に管理する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑭海洋資源									
事業とゴールの 関連性	処理が終了したごみ処理施設、埋立地(旧ごみ処理施設)及びその跡地を適正に管理することで、河川放流基準を遵守する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	12,996	30,543	7,294	6,918	11,074	638,242
	決算	10,979	21,103	5,898	5,111	8,547	
	国・県支出						
	市債						
	その他						1
	一般財源	10,979	21,103	5,898	5,111	8,547	638,241
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		16,200	15,440	15,480	8,680	14,000	34,400
人工	正規	2.0	1.8	1.8	1.0	1.6	4.0
	再任用(31h)	0.3	0.4	0.1			1.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.5	0.9	0.6	1.0	1.0
年間経費(予算又は決算+A+B)		27,179	36,543	21,378	13,791	22,547	672,642

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	04	01	001510000	05	廃棄物処理施設課	平口 学	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

■旧最終処分場の維持管理

・静ヶ谷最終処分場排水処理施設の運転を2021年4月1日より停止し、最終処分場の排水を直接河川放流した。放流水は引き続き、法に基づき水質検査を行い監視した。また、静ヶ谷最終処分場の安定化モニタリングを行った。

■旧ごみ処理施設跡地の管理

・不法投棄や放火などを未然に防ぐため、定期パトロールや樹木等の管理(草刈・樹木選定等)を実施し、適正な管理を行った。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・旧施設跡地等を定期的にパトロールを実施するなど、適正な管理を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

現状

小項目

現状

/

事業費

現状

人工

現状

・旧施設等跡地の活用に向けた検討を進めた。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

現状

小項目

現状

/

事業費

拡大

人工

拡大

・旧施設等跡地の活用に向けた検討を進める。

・令和5年度末に稼働停止する南部清掃工場において、稼働停止措置を行う。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

■旧最終処分場の維持管理

・静ヶ谷最終処分場の放流水は、法に基づき水質検査を行い監視していく。

■旧施設跡地の管理

・不法投棄や放火などを未然に防ぐため適正管理を行う。

・旧施設等跡地の活用に向けた検討を進める。

・令和5年度末に稼働停止する南部清掃工場において、稼働停止措置を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 04	基本政策 01	政策 04	予算費目 01	所属コード 001510000	事業 06	(担当課) 廃棄物処理施設課	(責任者) 平口 学	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 06 一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

廃棄物処理施設の建設等に係る資金の一部積立

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2011	—	一般会計	自治事務(その他)	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	857	2,015	3,001,954	388	10	8
	決算	3,600,314	2,014	3,001,954	388	10	
	国・県支出						
	市債						
	その他	314	2,014	1,954	388	10	8
	一般財源	3,600,000		3,000,000			
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		3,601,014	2,714	3,002,654	1,088	710	708

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

基金積立の事務を行った。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工
基金の積立を継続する。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

基金積立の事務を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 04	基本政策 01	政策 04	予算費目 01	所属コード 001510000	事業 07	(担当課) 廃棄物処理施設課	(責任者) 平口 学	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 07 廃棄物処理施設デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

廃棄物処理施設課のデジタル関連事業

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	—	一般会計	自治事務(その他)	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用 ⑬気候変動									
事業とゴールの 関連性	遠隔地にある事務所と鴨江分庁舎との行き来や市民の連絡ごみ処理手数料の支払窓口への移動を削減し、移動時間の削減に伴い事務所内での業務時間の増加や移動手段である車から排出されるCO2の削減を図るもの。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			2,651	1,825	3,008	36
	決算			1,523	1,517	2,956	
	国・県支出					782	
	市債						
	その他			1,339	1,361	1,363	
	一般財源			184	156	811	36
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700	700	700	700
人工	正規			0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				2,223	2,217	3,656	736

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
タブレットによるWeb会議累計値(2ヶ所・回)		目標			20	40	60	80
		実績			12	45	79	
LINE申込件数(件)		目標			24,000	24,000	24,000	—
		実績			17,818	21,132	27,406	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	04	01	001510000	07	廃棄物処理施設課	平口 学	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・連絡ごみの収集申し込みから連絡ごみ処理手数料の支払いまでをLINE上で完結させるサービスを継続的かつ安定的に運用した。
- ・分別収集カレンダーやホームページによりLINEによる申込みの周知を行った。
- ・路上死亡動物回収のLINEによる受付システムを開発し、8月から受付けを開始した。
- ・タブレットにより、遠隔地(新清掃工場G、北部収集窓口センター)とWeb会議を実施した。
- ・タブレットにより、事業者とWeb会議を実施した。
- ・図面等を格納したタブレットを現場に持参し、事業者と打合せを実施した。
- ・タブレットを活用することで課内会議を可能な限りWebで実施した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

達成

LINEによる連絡ごみの申込み件数について、24,000件を超え目標を達成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

改善

小項目

業務改善

/

事業費

拡大

人工

拡大

市民の利便性向上のため、路上死亡動物回収のLINE通報システムを開発し、8月から受付けを開始した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

現状

小項目

現状

/

事業費

現状

人工

現状

タブレットにより、事業者とWeb会議を実施する。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・LINEによる連絡ごみ収集申し込みや路上死亡動物回収の通報の受付けは一般廃棄物対策課へ移管し、事業を継続する。
- ・タブレットにより、事業者とWeb会議を実施する。

(管理番号)									
2024年度	分野 04	基本政策 01	政策 04	予算費目 01	所属コード 001510000	事業 08	(担当課) 廃棄物処理施設課	(責任者) 平口 学	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 08 廃棄物処理施設運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

廃棄物処理施設課の運営経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市									
事業とゴールの 関連性	適正な廃棄物処理施設課の運営により、持続可能な開発を行う。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	8,493	8,542	3,261	3,740	3,845	2,786
	決算	7,577	7,207	1,984	3,122	2,533	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	7,577	7,207	1,984	3,122	2,533	2,786
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		32,200	32,900	28,560	32,900	28,000	23,800
人工	正規	4.6	4.7	4.0	4.7	4.0	3.4
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2			
年間経費(予算又は決算+A+B)		39,777	40,107	30,544	36,022	30,533	26,586

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

廃棄物処理運営事業を行った。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度
廃棄物処理課の運営に係る、必要な予算を執行した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工
廃棄物処理課の運営を行った。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工
廃棄物処理施設課の運営を引き続き行っていく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

廃棄物処理施設運営事業を行う。

事業シート

(事業名) ごみ焼却施設運営事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

南部清掃工場の安全・安心なごみ焼却及び適正な運営維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1964年	2023年	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	－								
総合戦略	－	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費				⑥水・衛生	⑦エネルギー			
事業とゴールの 関連性		ごみ焼却業務における汚染減少、有害な化学物質や物質の放出の最小化を行う。環境上の悪影響を軽減させる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	679,365	751,288	742,307	752,365	731,695	
	決算	664,721	737,731	722,905	743,841	598,741	
	国・県支出						
	市債						
	その他	515,250	446,875	443,986	428,575	415,043	
	一般財源	149,471	290,856	278,919	315,266	183,698	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		268,700	267,900	262,900	262,800	262,000	
人工	正規	34.1	34.1	33.1	33.2	33.2	
	再任用(31h)	6.0	5.0	4.0	3.0	2.0	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	4.0	6.0	7.0	8.0	
年間経費(予算又は決算+A+B)		933,421	1,005,631	985,805	1,006,641	993,695	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
焼却場の安定稼働焼却量(118,000t)に対する安全率(%)		目標	±5.00	±5.00	±5.00	±5.00	±5.00	－
		実績	1.02	1.01	1.02	0.96	0.86	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・南部清掃工場に搬入される可燃ごみを適正かつ効率的に処理するため、最新の公害防止・自動化・省エネシステムを導入し24時間運転した。
- ・燃焼ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分を電力会社へ売却し、再生可能エネルギーの地産地消にも寄与した。
- ・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行った。
- ・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を実施した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ・南部清掃工場に搬入された可燃ごみ100, 627トン焼却した。
- ・燃焼ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分11,093,817 kWhを電力会社へ売却し有効活用を図った。
- ・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行った。
- ・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・南部清掃工場の安定稼働が維持できた。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 終了 小項目 / 事業費 人工

- ・2023(令和5)年度で閉鎖するため、2024(令和6)年度からは仕舞い業務を行っていく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・工場を安全に閉鎖するための仕舞い業務を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	04	01	001510000		廃棄物処理施設課	平口 学	2024.7.1

政策シート

政策名
04 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

予算費目名
03 平和清掃事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

- 安全かつ効率的なごみ処理体制を確立するとともに最終処分場施設の適正な維持管理を行う。
○埋立処分地の延命化を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	796,056	820,182	765,166	700,910	743,646	659,337
決算	786,337	794,223	692,755	471,796	719,180	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	80,800	80,800	80,000	80,000	77,200	67,000
年間経費(予算又は決算+A+B)	867,137	875,023	772,755	551,796	796,380	726,337

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
粗大・不燃ごみ等破碎処理における破碎処理センター稼働率(%以上)	%	目標	—	84.0	87.5	88.0	88.5	—
		実績	—	87.4	88.4	88.6	86.9	—
平和最終処分場第2期埋立進捗率	%	目標	47.6	50.3	53.0	55.7	58.5	61.2
		実績	46.9	49.8	52.6	55.7	58.4	
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

- 安全かつ効率的なごみ処理体制を確立するとともに、最終処分場施設の適正な維持管理を行う。
○埋立処分地の延命化を図る。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
○破碎処理センターの稼働効率を監理することにより、効率的な運転及び適切な修繕計画に役立てた。 ○適正な資源化に努めるなど、埋立処分場の延命化に努めた。 ○平和最終処分場第1期埋立処分場の廃止手続きを完了したことに伴い、第1期浸出水処理施設の機能を第2期浸出水処理用として活用し処理能力を向上させた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	不燃物等処理施設運営事業	—	—		115,427	99,927	1.5	1.0		0.5	
2	埋立処分場運営事業	—	—		558,946	545,246	1.5	0.5		0.5	
3	平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)	—	—		51,964	14,164	5.0			1.0	
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					726,337	659,337	8.0	1.5		2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 不燃物等処理施設運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

一般廃棄物破碎処理施設を適正に運営維持管理することにより、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	○廃棄物の中から可能な限り金属類を回収し、天然資源の再資源化率を向上させる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	408,696	467,758	453,862	444,209	421,402	99,927
	決算	404,847	452,880	453,765	235,898	401,360	
	国・県支出						
	市債						
	その他	147,534	189,764	188,876	56,111	18,806	6,562
	一般財源	257,313	263,116	264,889	179,787	382,554	93,365
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	15,500
人工	正規	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
	再任用(31h)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	0.5
年間経費(予算又は決算+A+B)		421,347	469,380	470,265	252,398	417,860	115,427

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
粗大・不燃ごみ等破碎処理における破碎処理センター稼働率(%以上)		目標	—	84.0	87.5	88.0	88.5	—
		実績	—	87.4	88.4	88.6	86.9	—
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 施設の運転監理及び設備保守点検等を実施する。
- 電子タバコ分別による発煙発火の効果を検証する。
- ごみ減容化のため不燃・連絡ごみを破碎し、排出される鉄・アルミ等の資源物を適正に再資源化する。
・対象施設: 平和破碎処理センター
- 可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持するため、改修工事等の施設整備を行う。
- 公害関係法令を遵守し、臭気、騒音、振動、排水等の公害対策を講じて基準値以下とする。
- 2023年度末に閉鎖する破碎処理センターの最終のごみ処理方法及び閉鎖後の対応について検討を行う。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- 新指標において、破碎処理施設における稼働率の目標値は88.5%以上であるが、8月の破碎処理施設の火災が原因と思われる事案によって稼働率が86.9%と目標を達成することができなかった。
- 電子タバコの分別回収し、処理委託を実現することができた。
- 関係各課と連携することで破碎処理センター内に残留するごみを最小限に留めることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- 施設の老朽化に伴う修繕による停止に対応するため、運転中の不要な停止時間を削減することで稼働率を向上させて処理量を確保する必要があった。
- 施設閉鎖後に残留するごみを最小限に減らすことで臭いの発生源を減らし、破碎処理センターから出る臭気の抑制を図る必要があった。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 改修・更新 / 収集・分析 事業費 現状 人工 現状

- 施設機能を維持するための整備工事や修繕等の投資と廃止を見据えた必要最小限の施設維持管理方法検討の両立が必要である。
- リチウムイオン電池の発煙発火による停止が増加している中、電子タバコ等の回収方法見直しに取り組む。
- 閉鎖後、天竜清掃工場への円滑な以降に向けて関係各課との継続的な調整を行う必要がある。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

- 施設の稼働停止に伴い、工場内のごみ撤去、及び簡易清掃等の解体前に必要な仕舞処理を行う。
- 電気が破碎処理センターを経由して他の施設に供給されるため、破碎処理センターの維持費低減を目的に電気配線の見直し検討を行う。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 施設の維持を目的として、解体まで必要最低限の補修を行い管理する。
- 破碎処理センターの機能が天竜清掃工場に移管されるため、必要情報の引継ぎを継続定期に行う。
- 解体に向けて関係各課と対応方法の検討を行う。
- 電気配線の見直しを行うとともに、台風等の大規模災害による停電に備えた電気の安定供給方法について検討を行う。
- 臭気対策として、継続的な施設周辺の巡回及び必要に応じて対策を行う。
- 地元住民に対して、閉鎖後の対応について継続的に説明を行い理解を得る。

事業シート

(事業名) 02 埋立処分場運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地を維持管理することにより、適正な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	○廃棄物の発生防止、削減及び再生利用等の推進により、埋立処分廃棄物量の削減に繋げる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	372,475	337,868	298,330	242,374	305,938	545,246
	決算	367,908	327,882	226,434	222,050	304,980	
	国・県支出						
	市債						
	その他	195,000	122,000	69,000	56,000		313,215
	一般財源	172,908	205,882	157,434	166,050	304,980	232,031
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		26,500	26,500	25,700	25,700	22,900	13,700
人工	正規	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
	再任用(31h)	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	0.5
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.5	2.5	3.5	3.5	2.5	0.5
年間経費(予算又は決算+A+B)		394,408	354,382	252,134	247,750	327,880	558,946

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
平和最終処分場第2期埋立進捗率(%)		目標	49.0	50.3	53.0	55.7	58.5	61.2
		実績	46.9	49.8	52.6	55.7	58.4	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	04	03	001545000	02	平和清掃事業所	佐藤 卓	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理を行う。
対象施設:
 - ・平和最終処分場、浸出水処理施設及び計量棟
 - ・引佐最終処分場及び浸出水処理施設
 - ・舞阪吹上第2廃棄物最終処分場
- 廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定の遵守及び環境保全を図る。
- 浸出水の水質変化に対応するため水質データを収集する。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- 平和最終処分場第2期埋立容量567,700m³に対し、2023年度末累計埋立量が15,644m³で、埋立進捗率の目標値58.5%に対し、58.4%と目標を達成した。
- 平和最終処分場第2期埋立は、6月に発生した豪雨による埋立場からの越水により、浸出水処理工程を経ずに調整池及び中渡谷川に排出された問題に対して、早期での応急対策を実施した。
- 引佐最終処分場は、6月に発生した豪雨による地滑りで施設立入り困難につき、ごみの受け入れを現在停止中。
- 電子タバコの分別回収を実現することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

豪雨等の大規模災害により、浸出水処理量(放流量)を超過する雨が埋立場に流入することで、埋立場からの越水、処理施設の慢性的な高負荷稼働、及び埋立場の地滑りによる施設の稼働停止が今後懸念される。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 改修・更新 / 収集・分析 事業費 現状 人工 現状

- ごみ減量、資源化への推進活動に加え、平和破碎処理センターの不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率が目標値を上回り、その結果、最終埋立処分量が抑制され、平和最終処分場第2期埋立進捗率55.7%の目標値を上回ることなく計画通り実施することができた。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

- 第2期埋立処分場の埋立てが上流部から下流部へ移行し、第1期の浸出水処理施設を第2期でも活用し、より適正な埋立ての進捗及び浸出水の処理を行う。
- 大規模災害に備えた施設の計画的な整備計画の立案及び浸出水処理量の見直しに伴う関係各所との調整を行う。
- 計量棟の適切な維持管理を行い、不適正ごみの搬入防止、正確な計量業務に努める。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理を行う。
対象施設:
 - ・平和最終処分場及び浸出水処理施設
 - ・舞阪吹上第2廃棄物最終処分場
- 廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定の遵守及び環境保全を図る。
- 浸出水の水質変化に対応するため水質データを収集するとともに、大規模災害に備えた浸出水処理量(放流量)の見直しを行う。
- 地滑りによる稼働停止している施設の復旧工事を行う。
対象施設:
 - ・引佐最終処分場及び浸出水処理施設

事業シート

(事業名) 03 平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	14,885	14,556	12,974	14,327	16,306	14,164
	決算	13,582	13,461	12,556	13,848	12,840	
	国・県支出						
	市債						
	その他	215	137	832	111	853	31
	一般財源	13,367	13,324	11,724	13,737	11,987	14,133
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		37,800	37,800	37,800	37,800	37,800	37,800
人工	正規	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
年間経費(予算又は決算+A+B)		51,382	51,261	50,356	51,648	50,640	51,964

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)



(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 現状 / 現状 事業費 現状 人工 現状
○最終処分場や破碎処理センターの活動内容等を広く市民に理解してもらうため、施設見学や出前講座を実施した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 人工
○2024年度から破碎処理センターが休止し、施設規模は縮小するものの、広大な埋立地の管理や、埋立後も浸出水処理を継続していくなど、施設の役割は大きく啓発活動もこれまで通り推進する。
○事業コストを軽減するため、今後も事務の見直しにより一層の合理化を目指す。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)



政策シート

政策名

04 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

予算費目名

05 天竜清掃事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策

01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

稼働中の焼却施設の管理運営や旧焼却・埋立施設の維持管理及び解体を実施する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	4,568,833	5,115,935	2,139,965	7,402,528	30,913,346	1,968,372
決算	4,575,618	4,674,669	2,485,884	7,319,725	30,952,332	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	61,820	69,200	69,120	67,720	65,840	47,460
年間経費(予算又は決算+A+B)	4,637,438	4,743,869	2,555,004	7,387,445	31,018,172	2,015,832

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
旧ごみ処理施設の解体業務	件	目標	1	1	1	1	1	2
		実績	1	1	1	-	2	
もえるごみの適正処理量の累計値(t)	t	目標						99,246
		実績						
もえないごみの適正処理量の累計値(t)	t	目標						5,436
		実績						
容器包装プラの適正処理量の累計値(t)	t	目標						5,937
		実績						
ごみ発電出力の累計値(MWh)	MWh	目標						58,918
		実績						
埋立進捗率	%	目標						70.0
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体のためのスケジュール調整を図った。
(天竜ごみ処理工場・佐久間ゴミ収集センター・はるのクリーンセンター・天竜塵芥処理場)
佐久間ゴミ収集センター土壌汚染対策工事(令和4年度繰越事業)を行った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

「ごみ処理施設の解体整地」は、解体費用等の予算確保が必要となるため市内の同様施設を優先度の高い順に順位付けて、進めていく。
佐久間ゴミ収集センター土壌汚染対策工事を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	旧ごみ処理施設管理事業	—	—		55,388	28,068	3.8	0.2			
2	(新規)天竜清掃工場運営事業	—	○		1,898,998	1,887,958	1.4	0.2	0.2		
3	埋立処分場運営事業	—	—		61,446	52,346	1.3				
4	旧ごみ処理施設管理事業	—	—	○							
5	埋立処分場運営事業	—	—	○							
6	新清掃工場整備事業	—	—	○							
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					2,015,832	1,968,372	6.5	0.4	0.2		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 旧ごみ処理施設管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

旧ごみ処理施設の維持運営を実施し、解体に向けた適切な管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	—	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費							
事業とゴールの 関連性		旧施設内にある建物も含めた廃棄物の管理に特別な注意を払い、解体・撤去することで、 環境上の悪影響を軽減する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	184,723	102,853	16,235	42,031	19,697	28,068
	決算	183,535	91,091	15,404	15,425	37,812	
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,619	1,674	1,701	1,544	1,302	
	一般財源	181,916	89,417	13,703	13,881	36,510	28,068
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	9,100	9,100	7,000	7,000	27,320
人工	正規	1.0	1.3	1.3	1.0	1.0	3.8
	再任用(31h)						0.2
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		190,535	100,191	24,504	22,425	44,812	55,388

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
天竜清掃センターの解体業務		目標		土壌入替工事	—	—	—	—
		実績		土壌入替工事				
佐久間ゴミ収集センターの解体業務		目標		解体工法調査	土地境界確定	対策工事	事前調査	解体工事
		実績		解体工法調査	土地境界確定	工事設計	事前調査 対策工事	
はるのクリーンセンターの解体業務		目標		事前調査	—	—	—	—
		実績		事前調査				
天竜ごみ処理工場の解体業務		目標						地歴調査
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

・旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体のためのスケジュール調整を図った。
(天竜ごみ処理工場・佐久間ゴミ収集センター・はるのクリーンセンター・天竜塵芥処理場)
・佐久間ゴミ収集センター土壌汚染対策工事(繰越明許)及び事前調査を行った。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度 計画通り
・「ごみ処理施設の解体整地」は、解体費用等の予算確保が必要であり、市内の同様施設を優先度の高い順に順位付けて進めていくよう見直しを行った。
・2022年度実施予定だった佐久間ゴミ収集センター土壌汚染対策工事は予算繰越により実施。並行して事前調査を行い、計画どおり事業を実施できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状
旧焼却・旧埋立施設の経費の見直しと節減を図る中で維持管理や環境に配慮した施設の解体処分に向けた準備をしている。
佐久間ゴミ収集センター土壌汚染対策工事は、予算繰越により実施。2024年度の解体に向けた準備ができた。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
・佐久間ゴミ収集センターの解体を実施する。
・天竜ごみ処理工場の解体に向けた準備を開始する。
・解体を予定している施設も含め、所管施設の適正管理に努めていく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

・休止施設の適正な維持管理を行う。
・佐久間ゴミ収集センターの解体工事を実施。

(管理番号)									
2024年度	分野 04	基本政策 01	政策 04	予算費目 05	所属コード 001549000	事業 02	(担当課) 天竜清掃事業所	(責任者) 山口 佳伯	(基準日) 2024.7.1

事業シート (事業名) 02 (新規)天竜清掃工場運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

天竜清掃工場の適正な運営・維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2024	2043	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生 ⑦エネルギー ⑪都市 ⑫生産・消費									
事業とゴールの 関連性	・廃棄物を適正に処理することにより、生活環境の保全、公衆衛生の向上及び資源が循環して利用される社会形成を図る。 ・廃棄物処理施設の設置者として、法令等を遵守し、安全かつ適正な施設の運転管理を行う。 ・もえるごみ焼却時に発生する熱を再生エネルギーとして有効活用する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						1,887,958
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他						452,072
	一般財源						1,435,886
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							11,040
人工	正規						1.4
	再任用(31h)						0.2
	再任用(26h)						0.2
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)							1,898,998

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
もえるごみの適正処理量の累計値(t)	—	目標						99,246
		実績						
もえないごみの適正処理量の累計値(t)	—	目標						5,436
		実績						
容器包装プラの適正処理量の累計値(t)	—	目標						5,937
		実績						
ごみ発電出力の累計値(MWh)	—	目標						58,918
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)



(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)



事業シート (事業名) 03 埋立処分場運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地を維持管理することにより、適正な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2002	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性		埋立処分場の適正な管理により、環境上の悪影響を低減できる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						52,346
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他						12
	一般財源						52,334
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							9,100
人工	正規						1.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)							61,446

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
埋立進捗率		目標						70.0
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
2024年4月から、天竜清掃工場から搬出される溶融飛灰の埋立を行う。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 拡大 人工 現状

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理を行う。
対象施設: 浜北環境センター
- 廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定の遵守及び環境保全を図る。

事業シート

(事業名) 04 旧ごみ処理施設管理事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

旧ごみ処理施設の運営維持を実施し、解体に向けた適切な管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費							
事業とゴールの 関連性		休止施設の解体等により、災害リスクの減少、また災害時の廃棄物仮置き場等としての有効活用が見込める。 一般廃棄物、資源物の受入施設としての維持管理により、廃棄物の削減、再生利用が図られる。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	7,632	7,446	7,451	10,208	17,201	
	決算	6,957	6,566	7,286	9,165	13,009	
	国・県支出						
	市債						
	その他	214	209	178	53	666	
	一般財源	6,743	6,357	7,108	9,112	12,343	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,220	4,140	4,140	4,140	4,140	
人工	正規	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	再任用(31h)	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1	0.1	0.1	0.1	
年間経費(予算又は決算+A+B)		11,177	10,706	11,426	13,305	17,149	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜北清掃センターの解体業務		目標	—	—	—	—	事前調査	土壌汚染調査
		実績	—	—	—	—	—	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・一般廃棄物等の受入施設としての機能確保及び休止施設の適正な維持管理
- ・施設解体等を見込んだ今後の維持体制の検討

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

一般廃棄物等の受入施設として施設の必要最小限度の維持管理を行っている。
現休止施設の解体に係る業務予定の始期を2026年度に変更。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
新清掃工場稼働までの必要最小限の維持管理を実施している。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
休止施設解体までの必要最小限の維持管理を実施する。
解体を見込み、浜北清掃センターとしての今後のあり方を検討していく。
当事業は天竜清掃事業所費旧ごみ処理施設管理事業にて引き続き実施していく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

一般廃棄物等の受入施設としての機能確保及び休止施設の適正な維持管理を行う。

事業シート

(事業名) 05 埋立処分場運営事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地を維持管理することにより、適正な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2002	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費							
事業とゴールの 関連性		埋立処分場の適正な管理により、環境上の悪影響を軽減できる。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	50,807	38,643	41,024	39,819	41,429	
	決算	46,273	37,597	33,318	44,958	38,344	
	国・県支出						
	市債						
	その他		12	12	12	12	
	一般財源	46,273	37,585	33,306	44,946	38,332	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,100	2,100	2,800	2,800	
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		48,373	39,697	35,418	47,758	41,144	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
累積埋立量(m ³) 実績値が目標値を下回 ることで達成		目標	800	—	—	—	—	—
		実績	813	—	—	—	—	—
埋立進捗率(%)		目標	—	59.1	59.6	60.1	60.6	70
		実績	—	59.32	59.71	59.90	60.22	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

・埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理

・廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定の遵守及び環境保全

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

浜北環境センターの2023年度埋立量は、155.0㎡であった。

なお、浸出水処理結果については、すべて基準内であり、環境への影響は認められていない。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

現状

 小項目 / 事業費

現状

 人工

現状

・2013年度から委託化した処分場の運営については、適切に管理されている。

・設備機器類の経年劣化に係る費用、浸出水処理費用は前年度を上回っている。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

現状

 小項目 / 事業費

現状

 人工

現状

・施設運営に関しては、引き続き委託業務として、適切に管理をしていく。

・施設の維持管理は、緊急度、重要度等を考慮し、優先順位の中で計画的に修繕等を実施していく。

当事業は天竜清掃事業所費埋立処分場運営事業にて引き続き実施していく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

○埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理を行う。

対象施設: 浜北環境センター

○廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定の遵守及び環境保全を図る。

事業シート

(事業名) 06 新清掃工場整備事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市の一般廃棄物を安全・安定的に処理するため、新しいごみ処理施設を整備する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2011	2023	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑦エネルギー	⑪都市	⑫生産・消費						
事業とゴールの 関連性		・安全・安定的な新しいごみ処理施設により、循環型社会の構築を図る。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,325,671	4,966,993	2,075,255	7,310,470	30,835,019	
	決算	4,338,853	4,539,415	2,429,876	7,250,177	30,863,167	
	国・県支出	705,990	704,937	212,888	2,265,231	11,233,679	
	市債	2,723,200	2,934,400	657,600	3,438,200	4,235,100	
	その他	20,000	25,000	10,000	5,000	14,777,521	
	一般財源	889,663	875,078	1,549,388	1,541,746	616,867	
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		48,500	53,860	53,780	53,780	51,900	
人工	正規	5.9	6.9	6.9	6.9	6.9	
	再任用(31h)	2.0	1.0	0.9	0.9	1.0	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.7	0.8	0.8		
年間経費(予算又は決算+A+B)		4,387,353	4,593,275	2,483,656	7,303,957	30,915,067	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
新清掃工場建設の進捗率(%)		目標	14	24	30	41	100	100
		実績	14	24	30	41	100	
PFI事業(設計・建設)の進捗率(%)		目標	11	20	24	35	100	100
		実績	11	20	24	35	100	
施設整備に係る環境影響評価事後調査の 進捗率(%)		目標	26	40	52	75	100	100
		実績	26	40	52	75	100	
施設整備に係るモニタリング業務の進捗率 (%)		目標	30	46	64	79	100	100
		実績	30	46	64	79	100	
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	04	01	001510000	06	天竜清掃事業所	山口 佳伯	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

新清掃工場及び新破砕処理センターの整備

- ・新清掃工場及び新破砕処理センター施設整備に係る造成・アプローチ道路工事及び建築・プラント工を行う。
- ・新清掃工場及び新破砕処理センター施設整備のモニタリングを実施する。(PFI事業モニタリング)
- ・環境影響評価条例に基づく工事期間中の事後調査を実施する。
- ・周辺道路の道路改良工を行う。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

新清掃工場及び新破砕処理センターの整備

- ・新清掃工場及び新破砕処理センター施設整備に係る造成・アプローチ道路工事として法面工、管理用道路工、市道拡幅工などを実施し、建築・プラント工事として工場棟の内外部仕上工、プラント工、付属棟の地上躯体工、内外部仕上工などを実施した。
- ・新清掃工場及び新破砕処理センター施設整備運営事業において、定例会議、業務関連書の確認、現場確認等を実施し、要求水準を満たしているか監視するためモニタリングした。(PFI事業モニタリング)
- ・環境影響評価条例に基づく工事期間中の事後調査として、水質、動植物、生態系、保全対象種の調査及び保全措置を実施した。
- ・天竜紙板線、天竜紙板南線、熊小松天竜川停車場線など周辺道路の道路改良工事を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・本事業は、事業契約の段階で、PFI方式を導入し、財政支出の削減や民間ノウハウの活用を実現している。工事工程表に従い、計画通り事業を進めた。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

政策シート

政策名
04 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

予算費目名
06 下水道事業会計支出金

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野
04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策
01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進や浄化槽法に係る維持管理啓発を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	44,737	44,977	45,206	44,371	45,087	45,486
決算	44,622	44,958	45,206	44,344	45,081	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	700	700	700	700	700	700
年間経費(予算又は決算+A+B)	45,322	45,658	45,906	45,044	45,781	46,186

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進や浄化槽法に係る維持管理啓発を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>
計画通り

○下水道事業会計負担金
職員人件費など45,087,000円(見込)を一般会計で負担した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	下水道事業会計負担金	—	—		46,186	45,486	0.1				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					46,186	45,486	0.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 下水道事業会計負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進や浄化槽法に係る維持管理啓発を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
—	—	一般会計	自治事務(その他)	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	44,737	44,977	45,206	44,371	45,087	45,486
	決算	44,622	44,958	45,206	44,344	45,081	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	44,622	44,958	45,206	44,344	45,081	45,486
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		45,322	45,658	45,906	45,044	45,781	46,186

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

お客さまサービス課が、合併処理浄化槽への設置替え促進や浄化槽法に係る浄化槽の適正な維持管理を啓発するため、その職員人件費等を一般会計で負担した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

お客さまサービス課が、合併処理浄化槽への設置替え促進や浄化槽法に係る浄化槽の適正な維持管理を啓発するため、その職員人件費等を一般会計で負担した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス終息後より合併処理浄化槽への設置替え促進や浄化槽の適正な維持管理啓発について従来の職員による戸別訪問での取り組みを再開した。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
合併処理浄化槽への設置替え促進や浄化槽法に係る浄化槽の適正な維持管理を啓発するための事業実施について、その職員人件費等を一般会計で負担した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
合併処理浄化槽への設置替え促進や浄化槽法に係る浄化槽の適正な維持管理を啓発するための事業実施について、その職員人件費等を一般会計で負担する。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

上下水道部お客さまサービス課が、合併処理浄化槽への設置替え促進や浄化槽法に係る浄化槽の適正な維持管理を啓発するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。